

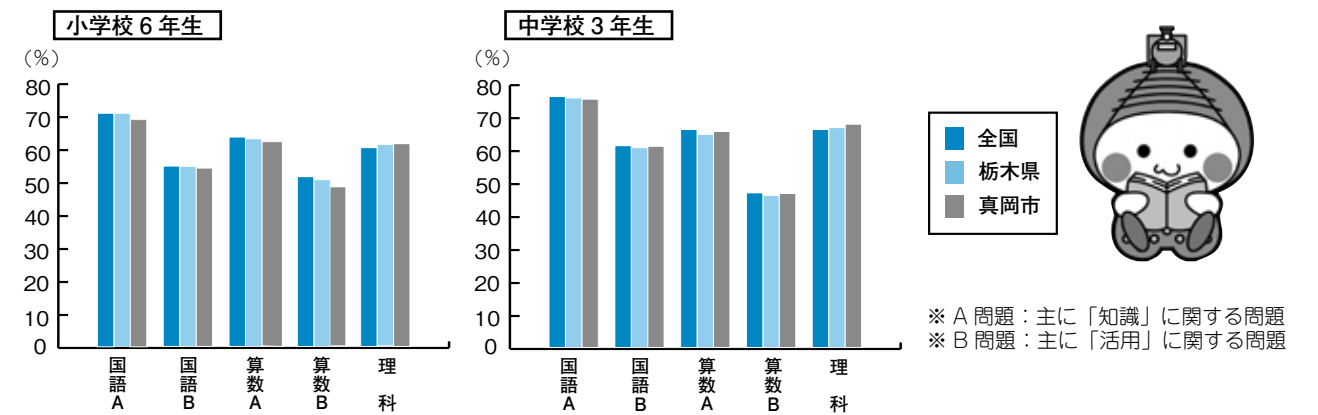
平成30年度全国学力・学習状況調査および とちぎっ子学習状況調査の結果について

今年も4月に全国学力・学習状況調査およびとちぎっ子学習状況調査が実施されました。それぞれの調査に関する結果をお知らせします。なお、今年度は3年に1度実施する理科の学力調査も行われました。

◆調査内容：教科に関する調査、児童生徒の学校や家庭での生活に関する意識調査

◆◆◆ 教科に関する調査結果 ◆◆◆

全国学力・学習状況調査平均正答率

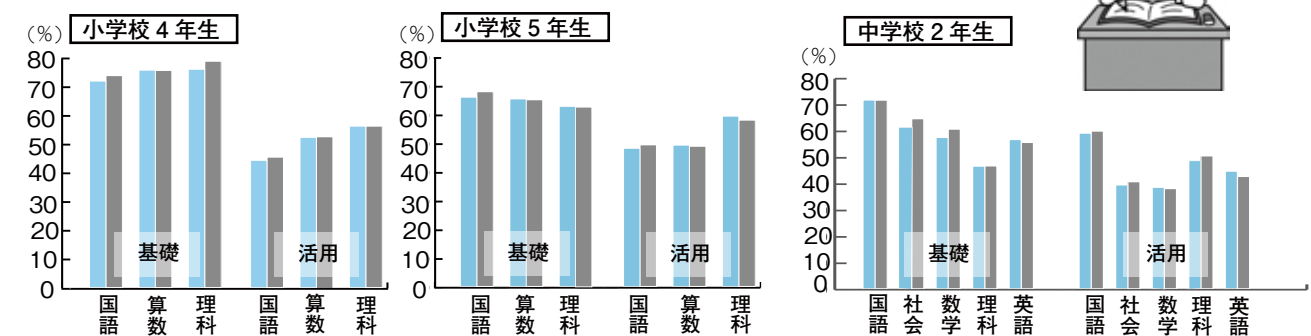


※ A 問題：主に「知識」に関する問題
※ B 問題：主に「活用」に関する問題

調査結果から

- ◆小学校6年生においては、国語の活用と算数の知識および理科が県の平均正答率と同程度です。特に理科の「観察や実験の技能」、「自然事象についての知識・理解」は全国や県を大きく上回っています。
- ◆中学校3年生においては、すべての教科が県の平均正答率と同程度です。

とちぎっ子学習状況調査平均正答率

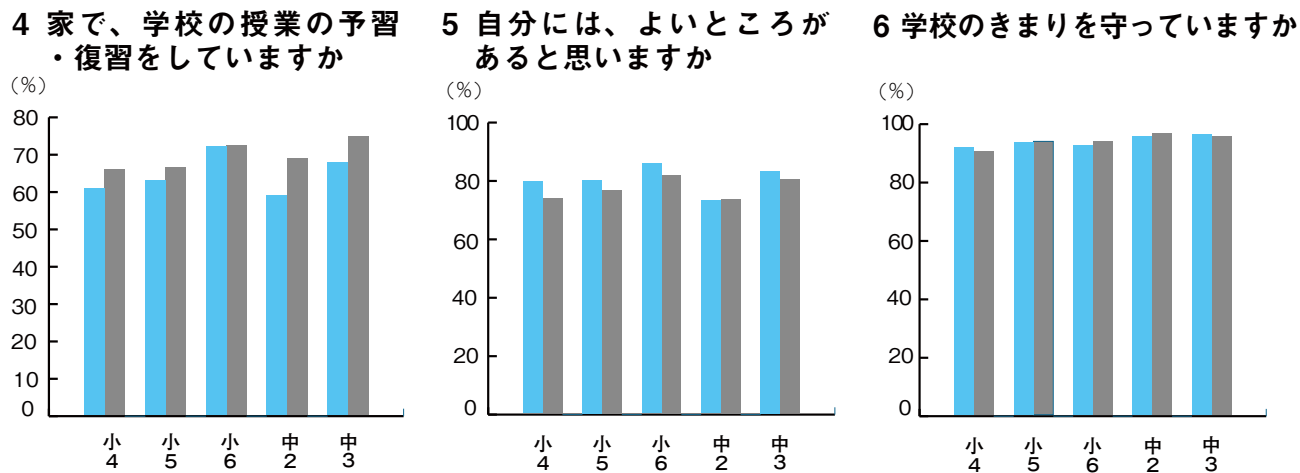
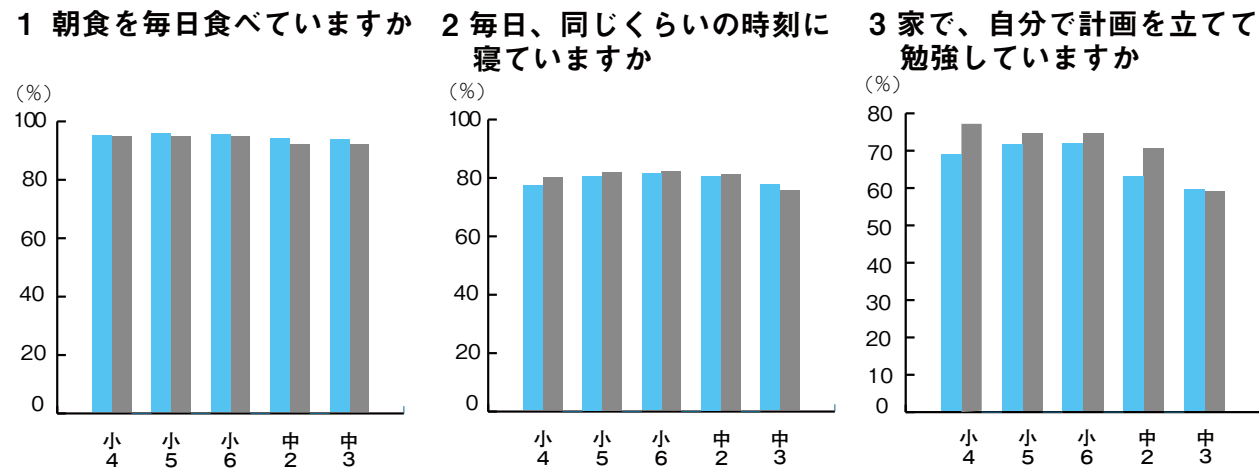


調査結果から

- ◆小学校4年生においては、おおむね県の平均正答率をやや上回るか県とほぼ同程度です。
- ◆小学校5年生においては、理科の活用が県の平均正答率をやや下回りましたが、他は県とほぼ同程度かやや上回っています。
- ◆中学校2年生においては、社会や数学の基礎が県の平均正答率を大きく上回っていますが、英語が県の平均正答率をやや下回っています。

◆◆◆ 児童生徒の生活に関する意識調査結果 ◆◆◆

家庭における学習・生活の様子、自己肯定感、規範意識に関する質問に対する結果を紹介します。



調査結果から

- ◆朝食を毎日食べている児童・生徒の割合は、昨年度と同様に全学年90%を超えていますが、県と比べると全学年下回っています。
- ◆寝る時刻や家での学習は、県と比べても良好な傾向にあります。
- ◆自分のよさを認識している児童・生徒の割合は、昨年度と比べると増加しましたが、県と比べると下回っています。
- ◆今回の質問紙の調査では、児童・生徒の質問紙と学力のクロス分析を行いました。その結果、「地域や社会に関心がある」、「規範意識・自己肯定感が高い」児童・生徒ほど学力が高い傾向にあることが分かりました。

朝食は1日の活動の源となります。脳にも身体にもしっかりとエネルギーを補充しましょう！



今後とも、保護者、地域の皆さまには家庭生活や生活習慣における児童生徒の支援と、学校教育に関するご理解ご協力をよろしくお願いします。

【問い合わせ】学校教育課指導係 ☎ 83・8181 FAX 83・8080
※児童生徒質問紙結果の詳細は、市教育委員会ホームページ (http://www.moka-tcg.ed.jp/kyouiku_01/) で確認できます。